生命工学NEWS LETTER

生命工学科の"いま"をお届けします！

生命工学科卒業生の進路は？

就職：生命科学系はバイオ産業分野へ、人間情報工学系は情報産業分野への就職が期待されます。2024年度の本学科の卒業生は、国家公務員、北海道庁、札幌市ほか地方公共団体、ホクレン農業協同組合連合会、よつ葉乳業、株式会社ロバパン、株式会社もりもと、株式会社NTTデータMSE、株式会社マイナビEdge、エヌ・ティ・ティ・システム開発、北陸銀行、北見信用金庫、イオン北海道など、幅広い分野で内定を得ています。

大学院進学：大学院は高度かつ先端の知識や技術を学ぶ場所であり、企業で高いリーダーシップを発揮し活躍することが期待されます。本学科では大学院進学に向けた情報提供「大学院進学説明会」を開催するなど、独自のサポートを行なっています。

教員免許取得：「高等学校教諭一種免許状（理科）」・「中学校教諭一種免許状（理科）」・「高等学校教諭一種免許状（情報）」の取得が可能です。 卒業に必要な単位以外に、教員免許取得に必要な科目 の単位履修が必要です。本学科では毎年 1～2割程度の学生が教職課程を履修し、教員を目指しています。





生命工学科独自の就職・進学イベントの様子。「就職活動スタートアップイベント」（上）では、就活を始める３年生が、内定や大学院進学が決まった４年生に直接相談することができます。（下）「大学院進学相談会」では、本学大学院の特色や他大学大学院への進学方法など、大学院進学に関する疑問について解説が行われました。

藤﨑晴大さん（情報系）



私は機械学習を用いて、機械翻訳システムより生成された訳文に対して自動で評価を行うシステムの構築について研究を行いました。生命工学科では、情報と生命の2つの分野の知識を学ぶことができるため、分野を横断した幅広い視点から自分自身の選択肢を広げることができました。

平山凜斗さん（食品メーカー）



卒業研究では大文字草の八重咲き品種になる原因を、DNA解析で特定するというテーマで取り組みました。結果が思うように出ないこともありましたが、試行錯誤を繰り返し、結果が出た時の体験はここでしか得られないものでした。卒業後は道内の食品メーカーに勤務し、北海道に貢献していけるよう頑張ります。

中野結太さん（公務員）



卒業研究では、ミオシン調節軽鎖アイソフォームの発現量解析を行いました。本学科の強みは、様々な業種や職種にチャレンジできることだと思います。応援しています。卒業後は、地元の市役所に就職します。愛する地元のために一生懸命頑張ります！

風藤華奈さん（大学院進学）



卒業研究では、分裂酵母を用いた細胞質硬化の要因と移動距離の自動化について研究しました。卒業後は、農芸化学分野の大学院に進学します。日々の中で、大変なこともあると思いますが、何事も挑戦することが大切です。応援しています。

柳瀬友樹さん（理科教員）



卒業研究では老化抑制物質は分裂酵母の細胞質を変化させるかというテーマで研究に取り組みました。担当教授や同じ研究室の友達のおかげで充実した卒業研究ができたと思います。卒業後は高等学校の理科教員なります。理科の楽しさを生徒に伝えたいです。

氣田真成さん（医療系）



卒業研究では、北海道産ビール醸造公的酵母の選抜について研究を行いました。ビールの研究は本研究室では初年度でしたが、酵母との相性など次年度につなげられる研究ができました。卒業後は北海道内の医療機器卸売会社にシステム職として入社し、学科で学んだ生命系と情報系の知識を活かしてがんばります。

田中蒼大郎さんが2024 IEEE Sapporo Section Student Paper Contest Encouraging Prizeを受賞



大学院生の田中蒼大郎さん（修士2年、越前谷研究室）が、令和6年度電気・情報関係学会北海道支部連合大会において下記の発表を行い、The 2024 IEEE Sapporo Section Student Paper Contest Encouraging Prizeを受賞しました。著者：田中蒼大郎，越前谷博（北海学園大学），荒木健治（北海道大学）、題目：翻訳対象言語の情報を利用した低資源言語のためのニューラル機械翻訳

学生アイディアプレゼンテーションに2チームが出場



2024年11月20日に 開催された第7回学生アイディアプレゼンテーションに、生命工学科から2チームが参加しました。本イベントは札幌商工会議所などが連携し、学生が製品化・事業化のアイディアを提案するものです。生命工学科は第5回から連続出場しています。学生が提案した買い物アプリ「カゴの眼」は、メディアでも紹介されました。

もっと詳しい情報・普段の様子はこちらから！

工学部公式HP
https://eng.hgu.jp

工学部instagram
ENGHGU_OFFICIAL

資格取得で奨励金支給！ 生命工学科生を応援

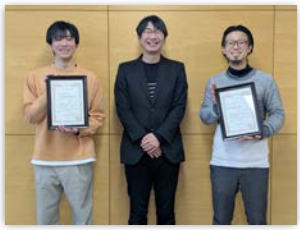


生命工学科では、1～3年生を対象に、資格取得を奨励する奨励金制度を実施しています。本制度は道路工業株式会社の寄付金を財源とし、指定資格を取得した学生に奨励金を支給します。対象資格は「バイオ技術者認定試験（上級）」「基本情報技術者試験」「応用情報技術者試験」の3つで、3年次終了までに合格した在籍生（休学者・科目履修生を除く）が対象。寄付金がなくなり次第終了のため、早めの挑戦を推奨します。

生命工学科卒業研究発表会を開催



４年生は１年間取り組んだ自身の研究について発表しました。



水谷教授（写真中央）より賞を授与された安井秀太さん（右）と塩野谷卓人さん（写真左）

2025年2月4・5日に生命工学科卒業研究発表会が実施されました。4年生は、在学中に身につけた専門知識を生かし、それぞれが１年間かけて取り組んできた卒業研究について発表を行いました。学科4年生や教員はもちろん、学科の下級生も参加し、各研究について活発な質疑応答が行われました。また、研究に一生懸命に取り組んだ学生を称えるために設立された表彰制度『生命工学学生研究賞』は、2024年度は学科4年生の安井秀太さんと塩野谷卓人さんが受賞しました。

ワイン・ビールへ研究成果を活用

新沼ゼミは札幌市の八剣山ワイナリーと連携して、学生が研究・選抜したオリジナル酵母 を活用し、2024年度の学園オリジナルワイン（赤・白・スパークリングロゼ） を完成させました。スパークリングワインは、北海学園大学同窓会の結成70周年記念事業 にも採用され、同窓会が外部企業とコラボし制作した「同窓会結成70周年記念ラベル」 に使用されました。また、同ゼミのオリジナル酵母はクラフトビールにも活用されています。また、経営学部・中村ゼミと札幌市のブルワリーであるTrans Brewingとの共同プロジェクトにも酵母を提供し、クラフトビール「Club PASA」 の開発に貢献しました。これらのワインとクラフトビールは、一般の酒販店で販売中です。



クラフトビール「Club PASA」（左）と 学園オリジナルワイン「同窓会結成70周年記念ラベル」（右）